

地元企業の良さ、間接的アピール 保護者への会社説明会 北九州市中心に展開「サンキュードラッグ」が開催 /福岡

地域 | 福岡 | 九州・沖縄

毎日新聞 | 2023/12/3 地方版 有料記事 696文字



保護者向け会社説明会で社員や社長に疑問をぶつける学生の保護者（手前）

Uターン促進で「社会増寄与へ」

人口減少に直面する北九州市は若者の流出が大きな課題となっている。そんな中、同市を中心にドラッグストアや調剤薬局を展開する「サンキュードラッグ」（門司区）が2日、ユニークな会社説明会を小倉北区で開いた。対象は大学生でなく、その保護者。地元企業の良さを保護者を通じて間接的にアピールし、人材確保はもちろん、大学生の市内就職率アップやUターンの促進につなげる狙いだ。【山下智恵】

対象は北九州市と山口県下関市出身の大学生を持つ両市在住の保護者。この日は3組が参加した。平野健二社長が「地域密着だからできることがある」と経営方針やビジョンを説明。同社は高齢者が徒歩10分以内で店舗に行けるよう、半径500メートル以内に1店舗という高密度出店戦略を取っており、転動しても引っ越しの必要がないことや、多様なキャリアプランをアピールした。

その後、それぞれが希望する職種ごとのブースに分かれて説明を聞いた。保護者からは転勤頻度や研修制度、他企業との競合状況などの質問が次々と出ていた。

北九州市では、市内の大学に通う新卒者の市内就職率が23年3月、22・6%にとどまる。市外の大学に入学してそのまま就職するケースも多く、政令市1位の高齢化率（31・2%）の要因にもなっている。

今回の取り組みについて、平野社長は「子は外に目が向きがちだが、親は地元で暮らす価値を知っている。親から子どもに伝われば」と期待しており、「いかに人をとどめるか、戻ってきてもらえるか。社会増に寄与するため、今後、北九州市内の企業で合同イベントをするなど広がっていけば」と話している。

〔北九州版〕

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。画像データは（株）フォーカスシステムの電子透かし「acuagraphy」により著作権情報を確認できるようになっています。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.